

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月22日

上場会社名 株式会社 ワイ・イー・データ

上場取引所 東

コード番号 6950 URL <http://www.yedata.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田兼幸

問合せ先責任者 (役職名) グループ統括管理部担当部長 (氏名) 向野康宏

TEL 04-2932-9850

四半期報告書提出予定日 平成26年1月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年3月21日～平成25年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,842	3.3	△405	—	△391	—	△410	—
25年3月期第3四半期	1,783	△35.4	△416	—	△282	—	△289	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △381百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △270百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△21.55	—
25年3月期第3四半期	△15.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	6,255	4,612	73.7	241.98
25年3月期	6,896	4,995	72.4	261.97

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,612百万円 25年3月期 4,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年3月21日～平成26年 3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,450	△13.0	△560	—	△530	—	△645	—	△33.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	19,730,959 株	25年3月期	19,730,959 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	669,163 株	25年3月期	663,577 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	19,065,216 株	25年3月期3Q	19,068,761 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間（平成 25 年 3 月 21 日～平成 25 年 12 月 20 日）は、情報マルチメディア製品が堅調に推移し、レーザーマーキング装置も新規の設備投資の回復が続き増加基調にあるほか、主力製品であるガルバノスキャナシステムおよびロボット応用システムが事業規模の本格的な回復を牽引するまでには至っていないものの堅調を持続しており、売上高 18 億 42 百万円（前年同期比 3.3%増）となりました。

損益面では、原価低減やコストダウンのほか、経費削減にも取り組んでおりますが、売上の回復が小幅にとどまったため、営業損失 4 億 5 百万円（前年同期比 10 百万円損失減）、経常損失 3 億 91 百万円（同 1 億 9 百万円損失増）、四半期純損失 4 億 10 百万円（同 1 億 21 百万円損失増）となりました。

当社グループでは、事業内容を 2 つのセグメントに分けております。

当第 3 四半期連結累計期間の各セグメント別の業績動向は、つぎのとおりです。

セグメントの名称	売上高 (前年同期比)	営業損益 (前年同期比)
オプトメカトロニクス	11 億 97 百万円 (12.9%増)	△ 4 億 73 百万円 (61 百万円損失増)
情報通信ビジネス	6 億 45 百万円 (10.8%減)	68 百万円 (72 百万円増)
合 計	18 億 42 百万円 (3.3%増)	△ 4 億 5 百万円 (10 百万円損失減)

[オプトメカトロニクス]

ガルバノスキャナシステムは、当社の得意とする自動車分野での溶接・車載電池関連では好調を持続しておりますが、電気・電子分野での設備投資が延伸しており、前年同期並みにとどまりました。今後は、第 3 四半期に市場に投入した 3 D データによる三次元曲面の表面を加工するシステムなど新製品が売上に寄与してまいります。

ロボット応用システムは、上半期前半までは食品業界、酒造業界のほか製氷業界の市場開拓に成果をあげることができましたが、上半期後半からは食品などの分野での設備投資が円安等による採算の悪化懸念から延伸されており、市場開拓が停滞しました。今後は、第 3 四半期に実施した展示会への出展などゼネラルパッカー㈱や㈱安川電機と連携した拡販活動の強化とシステムの標準化や 3 D ビジョンといった新技術の開発などの技術面での活動を一体化して取り組んでまいります。

レーザーマーキング装置は新規の設備投資の回復が続き増加基調にあります。電極塗布装置はスマートフォン用の電子部品業界向けに設備の改修需要はあるものの新規の設備投資の盛り上がりには欠け減少しました。

これらの結果、売上高は回復してきたものの、損益面では原価低減、生産性の向上により収益改善に一定の成果があがったにもかかわらず、売上の回復幅が予想を下回っていることもあり赤字計上のやむなきに至りました。

[情報通信ビジネス]

映像業務機器用やコンビニ向けといった業務用カードリーダーが好調を継続し、フォトキオスク端末も前年同期並みで推移しているほか、データ復旧サービスも下半期にはいり上半期の市場の縮小に歯止めがかかりつつあり、売上の減少幅が若干縮まりました。損益面では、重点事業へのシフト強化や経費圧縮の効果により黒字基調となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(当第 3 四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況)

資産の部では、受取手形及び売掛金の減少などにより、資産の合計は前連結会計年度末比 6 億 41 百万円減の 62 億 55 百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金の減少などにより、負債合計は前連結会計年度末比 2 億 59 百万円減の 16 億 42 百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金の減少などにより、純資産合計は前連結会計年度末比 3 億 82 百万円減の 46 億 12 百万円となりました。

(当第 3 四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況)

当第 3 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 1 億 55 百万円減少し 26 億 4 百万円となりました。当第 3 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況はつぎのとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少、たな卸資産の減少等による資金増加、税金等調整前四半期純損失 4 億 5 百万円の計上、仕入債務の減少等による資金減少などにより 1 億 60 百万円の支出(前年同四半期は 2 億 81 百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による資金減少により 1 百万円の支出(前年同四半期は 3 百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、ほぼ変動はありませんでした。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期(平成25年3月21日～平成26年3月20日)の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,600	百万円 30	百万円 40	百万円 30	円 銭 1.57
今回発表予想(B)	2,450	△ 560	△ 530	△ 645	△33.83
増減額(B-A)	△1,150	△ 590	△ 570	△ 675	—
増減率(%)	△ 31.9	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	2,817	△ 306	△ 165	△ 188	△ 9.88

売上が減収となるほか、営業損益・経常損益・当期純損益とも損失となる見込みのため、上記のとおり平成26年3月期通期連結業績予想数値を修正するものです。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関わる事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これに伴う四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,986	1,803
預け金	773	801
受取手形及び売掛金	1,499	1,086
製品	277	176
仕掛品	272	299
原材料及び貯蔵品	112	129
その他	158	146
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,081	4,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	328	312
機械装置及び運搬具(純額)	15	13
土地	326	326
その他(純額)	10	12
有形固定資産合計	681	665
無形固定資産		
その他	4	3
無形固定資産合計	4	3
投資その他の資産		
投資有価証券	837	855
その他	294	291
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	1,129	1,143
固定資産合計	1,815	1,812
資産合計	6,896	6,255
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	521	287
未払費用	155	149
未払法人税等	12	8
製品保証引当金	5	6
その他	72	78
流動負債合計	767	530
固定負債		
長期未払金	166	116
退職給付引当金	967	995
その他	—	0
固定負債合計	1,134	1,112
負債合計	1,901	1,642

(単位：百万円未満切捨て)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,008	5,008
資本剰余金	522	522
利益剰余金	△271	△682
自己株式	△167	△168
株主資本合計	5,091	4,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△88	△70
為替換算調整勘定	△8	3
その他の包括利益累計額合計	△96	△67
純資産合計	4,995	4,612
負債純資産合計	6,896	6,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円未満切捨て)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年12月20日)
売上高	1,783	1,842
売上原価	1,710	1,805
売上総利益	72	37
販売費及び一般管理費	489	442
営業損失(△)	△416	△405
営業外収益		
受取利息	1	5
為替差益	—	2
持分法による投資利益	130	3
その他	4	1
営業外収益合計	136	13
営業外費用		
為替差損	2	—
その他	0	0
営業外費用合計	2	0
経常損失(△)	△282	△391
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産処分損	—	0
和解金	—	12
ゴルフ会員権評価損	1	1
特別損失合計	1	13
税金等調整前四半期純損失(△)	△283	△405
法人税、住民税及び事業税	5	5
法人税等合計	5	5
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△289	△410
四半期純損失(△)	△289	△410

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△289	△410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	16
為替換算調整勘定	△5	11
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	18	29
四半期包括利益	△270	△381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△270	△381
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△283	△405
減価償却費	31	24
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10	27
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3	0
受取利息及び受取配当金	△1	△5
持分法による投資損益(△は益)	△130	△3
為替差損益(△は益)	△0	△1
有形固定資産処分損益(△は益)	—	0
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△0
ゴルフ会員権評価損	1	1
和解金	—	12
売上債権の増減額(△は増加)	1,061	412
たな卸資産の増減額(△は増加)	△71	60
仕入債務の増減額(△は減少)	△34	△238
未払費用の増減額(△は減少)	△58	△7
未払消費税等の増減額(△は減少)	1	△1
未収消費税等の増減額(△は増加)	△3	16
長期未払金の増減額(△は減少)	△4	△5
その他	△208	△45
小計	284	△159
利息及び配当金の受取額	5	9
和解金の支払額	—	△4
法人税等の支払額	△7	△7
法人税等の還付額	0	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	281	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2	△2
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△0	—
貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△0	△0
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	281	△155
現金及び現金同等物の期首残高	2,590	2,760
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,872	2,604

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第 3 四半期連結累計期間（自平成 24 年 3 月 21 日 至平成 24 年 12 月 20 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	オプトメカトロニクス	情報通信ビジネス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,060	723	1,783	-	1,783
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,060	723	1,783	-	1,783
セグメント損失(△)	△411	△4	△416		△416

(注)セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第 3 四半期連結累計期間（自平成 25 年 3 月 21 日 至平成 25 年 12 月 20 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	オプトメカトロニクス	情報通信ビジネス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,197	645	1,842	-	1,842
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,197	645	1,842	-	1,842
セグメント利益又は損失(△)	△473	68	△405	-	△405

(注)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。